

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>		都市・地域整備局地球環境問題等総合調査等経費		<b>担当部局庁</b>	都市局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成19年度/平成25年度(予定)		<b>担当課室</b>	公園緑地・景観課 緑地環境室		課長 舟引 敏明		
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		地球温暖化対策の推進に関する法律第8条		<b>関係する計画、通知等</b>	京都議定書目標達成計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		我が国の温室効果ガス6%削減達成のための京都議定書目標達成計画において、都市緑化等による吸収源対策として74万トン-CO2を目標としている。このため、日本国政府として国連気候変動枠組条約事務局に提出する吸収量算出データの作成及びその精度向上、2013年以降の吸収源対策の新たな枠組に対応するための各種調査等を行い、吸収量を適切に把握・算出する。このような都市緑化等による地球温暖化対策等都市における地球環境問題への対策を促進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都議定書に基づく第一約束期間分報告の3年目分として、都市緑化等による吸収量算出に係るデータを作成し、日本国政府として国連気候変動枠組条約事務局に提出する報告書のデータ作成。</li> <li>・都市緑化等による吸収量の最も多くを占める高木の吸収量の算出方法について、最新の学術研究の成果等を反映し算定方法の精度を向上。</li> <li>・土壌及びリター(土壌になる前の落葉・落枝)の吸収量の算出方法について具体的な係数を検討。</li> <li>・2013年以降における新たな吸収量算出の枠組について、国際的な動向の情報収集等の実施及び吸収量の概算検討。</li> </ul>							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	26	35	26	21	0	
			補正予算	0	0	-	-		
			繰越し等	0	0	0	-		
		計	26	35	26	21	0		
		執行額	26	35	25				
執行率(%)	100.0%	99.3%	96.1%						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(21~25年度の平均値)	
		都市緑化等によるCO2吸収量 (国連気候変動枠組条約事務局に提出する日本国インベントリ報告書に掲載。)		成果実績	t-CO2	103	105	-	74
				達成度	%	139%	141%	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		都市公園、道路緑地、河川緑地、港湾緑地、下水処理施設内の緑地、公的賃貸住宅地内の緑地、官公庁施設敷地内の緑地、緑化施設整備計画認定緑地についての第1約束期間内の整備面積(千ha)		活動実績 (当初見込み)	千ha	71	72	-	-
						( )	( )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>		主な調査:25百万円		算出根拠 吸収量の実績算出、国連への報告及び新たな吸収量算出の枠組に対応するための調査・検討に必要な経費 (※上記は、本事業の主な調査である都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策に関する指標及び実績を記載している。また、これは本事業による直接的成果・活動実績では無いが、ここでは本事業によって把握した都市緑化等による吸収源の実績を活動指標及び活動実績とし、そこから算出される吸収量を成果目標及び成果実績と設定した。なお、目標値は京都議定書目標達成計画に掲載されたものを採用している。)					
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	地球温暖化防止等対策調査費		21						
	計		21						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国は、温室効果ガスの排出量・吸収量について、気候変動枠組条約及び京都議定書に基づき報告を行う義務がある。本事業は日本国政府として提出する報告書を構成する1つの要素である。都市緑化による吸収源対策の効果を把握し、吸収量の適切な把握・算出を行うものであり、国が行うことが必要不可欠である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	発注先の選定は企画競争で行っており、積算は徴収した見積もりとの比較を行っている。 業務の実施にあたっては、必要に応じて受注者と打合せを行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策取りまとめに向け調査内容に過不足がないか等を確認し、適切に業務を進めている。 なお、受注先において主たる業務の外部委託を行っていない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業では、京都議定書第3条第4項活動で我が国が選択している「植生回復」「森林経営」のうち、「植生回復」による温室効果ガス吸収量を算定している。調査では、吸収量の増加に寄与する事項を重点的に実施しており、得られた成果は、日本国政府として気候変動枠組条約事務局へ提出している。 閣議決定されている京都議定書目標達成計画の目標値(都市緑化等によるCO2吸収量:74万t)を用い、これを達成済みであり、我が国の「植生回復」の地球温暖化対策への貢献を促進するため、引き続き事業を推進する。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 林野庁(「森林経営」を担当)	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注先の選定にあたっては、平成23年度行政事業レビューの予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、吸収量の増加に寄与する事項を重点的に実施するとともに、企画競争による手続きにおいて、競争性を確保するため、前年度末より業務名及び概要等の業務発注予定を公表する等の配慮をした。また、業務の実施にあたっては、必要に応じて受注者と打合せを行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策取りまとめに向け調査内容に過不足がないか等を確認し、適切に業務を進めている。</li> <li>・受注者より提出のある成果物(業務報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか確認を行っている。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市緑地等による温室効果ガス吸収源対策等に関する検討調査</li> <li>・京都議定書に基づく温室効果ガスの6%削減は我が国の責務であり、本事業は日本国政府として気候変動枠組条約事務局へ提出する報告書のうち都市緑化による吸収源対策の効果を把握し、吸収量の適切な把握・算出を行うとともに、都市緑化等による地球温暖化対策への貢献を促進することを目的としており、国が行うことが必要不可欠。</li> <li>・成果については、適切に吸収量を算定しているか確認した上で、日本国政府として国連気候変動枠組条約事務局に提出する報告書の作成に活用。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	156	平成23年行政事業レビュー	0137

※平成23年度実績を記入

国土交通省  
25百万円

温室効果ガス吸収量を気候変動枠組条約事務局に報告するため吸収量の算定に係る方針決定、作業指示を行うとともに、算定方法の精度向上に向けた検討を行う。

【企画競争方式・随意契約】

A.(財)都市緑化機構  
25百万円

・都市緑化等に関する国連気候変動枠組条約事務局へ報告する報告書の作成・更新等  
・温室効果ガス吸収量算定方法の確立と精度向上等に向けた基礎的データの把握・整理

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(財)都市緑化機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
請負	都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等に関する次期目標等検討調査(都市緑化等に関する国連気候変動枠組条約事務局へ報告する報告書の作成・更新等)	25			
計		25	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. (財)都市緑化機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)都市緑化機構	都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等に関する次期目標等検討調査(都市緑化等に関する国連気候変動枠組条約事務局へ報告する報告書の作成・更新等)	25	随意契約 (企画競争)	99.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					